

事業名	精神障害者社会復帰調査研究等事業	レビュー番号	0827	担当部局・課室	障害保健福祉部精神・障害保健課
-----	------------------	--------	------	---------	-----------------

現状分析	課題	事業概要 【 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 既存 <input checked="" type="checkbox"/> モデル <input type="checkbox"/> 大幅見直し】
<ul style="list-style-type: none"> 近年、精神疾患を有する患者の数は増加傾向にあり平成29年には約420万人となっており、国民にとって身近な疾患となっている。（患者調査） 平成29年には「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書において、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」を構築することが適当とされ、同システムの構築の推進を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の早期発見・早期対応を促進し、その疾患について周囲の理解を得ながら地域の一員として安心して生活することができるよう、精神疾患や精神障害に関する普及啓発を推進することは、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築において最も重要な要素の一つである。 精神障害者に対する国民の理解について、「病気の認知度は進んでいると思わない」と回答している者は約9割であり、精神疾患への理解は進んでいない状況だった。また、差別や偏見についても約4割が「以前と変わらない」と回答していた。（平成28年度障害者総合福祉推進事業「地域における精神障害者に対する国民の理解の深化及び家族支援の方策に関する研究」） 	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスや精神疾患への正しい知識と理解を持ち、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人や家族等に対してできる範囲で手助けをするメンタルヘルス・ファーストエイドの考え方を活用した心のサポーター養成事業を実施し、心のサポーターを各地域で養成していくことで、地域における普及啓発にも寄与するとともに、精神疾患の予防や早期介入に繋げることを目的とする。

【インプット】 【アクティビティ】 【アウトプット】 【短期アウトカム】 【長期アウトカム】 【インパクト】

